

○神輿及ヒ宝庫寄附人名録

緒言
 抑大湫村々社ハ往昔神明白山
 ノ両社ヲ典シ随テ神輿ノ如キハ去ル
 天保年度新調スル所ナリシカ世

神輿及ヒ
 寶庫寄附人名録

依リ官ノ允可ヲ得一覺舎ヲ
 新設ス因テ神輿モ供ニ費内ニ
 存置セラレタリ豈圖ニ明治十
 八年十月廿五夜一片ノ灰燼

ノ變遷 象海帝ヨラス已ニ破
 壊ニ至ントス吾輩ノ憂苦措
 ク所ナク然ト虽モ是ヲ補フノ策
 ナシ茲ニ明治十七年村内ノ衆議

ニ歸シ衆諸狼狽セシモ如何

トモスル能ハス神輿モ供ニ焼失セ

リ然リト虽モ神輿ノ如キ氏子

アル限り袖子傍觀スルニ忍ビス

今回新調セント欲スルハ古今人

情ノ同シキ所敬神愛國ノ情

ナキニ非ス神ヲ敬スルハ身ヲ修メ

家ヲ齊フノ基礎タリ愛國

ハ富國強兵ノ端ナリ仰願フ

ハ信者ヲ始メ優等ノ諸彦

吾輩ノ素志ヲ遂ゲシメン

ト欲セハ一紙半銭ヲ問

ハス寄附アルニ於テハ神驗空

カラス式内ノ松杉欣々ト

シテ永ク咲ラ呈シ以テ諸彦

ニ謝セントス明治十九年

九月十九日起者頓首

規

一金壹圓ヲ以テキロト定ム

一金貳拾五錢以上ハ其姓名ヲ

神輿ニ記載スル者トス

一金貳拾五錢未満ハ其姓名

帳簿ニ著シ神輿ニ記載

セサル者トス

一金負ノ多少ニヨリ順序ヲ定ム

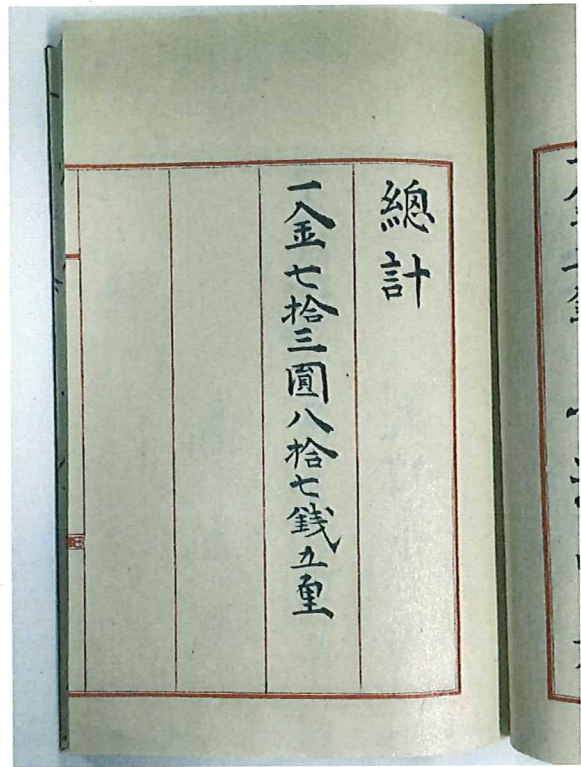
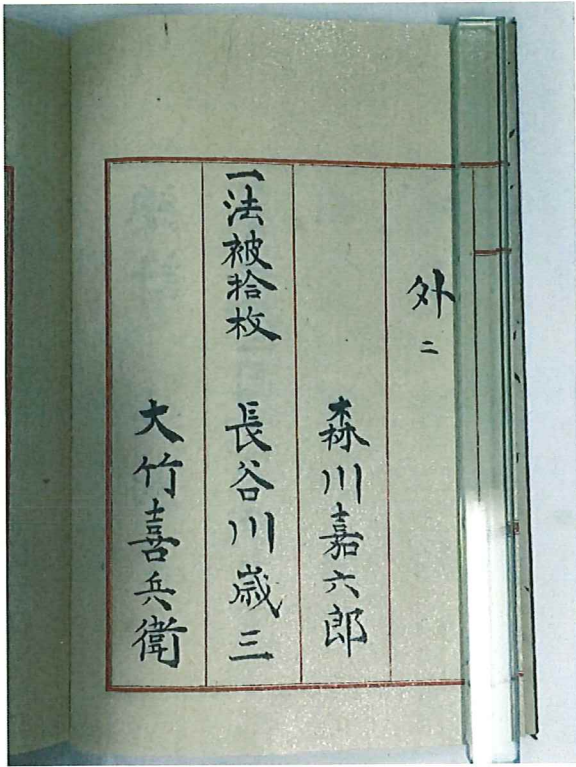
寄附金人名録

一金拾九圓 木村川嘉六郎

一金拾六圓 長谷川歳三

一金八圓 大竹喜兵衛

(以下、寄附者五十二名の記載があるが省略)



(以下、支払先・金額等は省略)

